

「三笠中学校の山田楽伝承活動の取組」

1. 学校名	阿久根市立三笠中学校
2. 学年・人数	41人
3. 日時・場所	<p>(1) 練習の日時・場所          令和7年5月15日 山田楽練習 三笠中学校1年1組教室          令和7年6月5日 山田楽練習 三笠中学校体育館          令和7年7月2日 「かさ・せこ」作り 三笠中学校1年1組教室          令和7年9月24日 リハーサル 三笠中学校校庭</p> <p>(2) 発表の日時・場所          令和7年9月28日 三笠中学校第79回体育大会オープニング          三笠中学校校庭</p>
4. 伝承・活用に 取り組んでいる 郷土芸能、伝統 行事、伝統工芸 品について	<p>(1) 名称 山田楽（やまだがく）</p> <p>(2) 由来 関ヶ原の合戦に由来し、出水郷の地頭であった山田昌巖が、出征と凱旋を盛り込んだ踊りとして鉦と太鼓による舞を考案したのが始まりだと伝えられている。</p> <p>(3) 構成 鉦、大太鼓、小太鼓、妙八（めはち）で構成されており、かけ声をかけて山跳びを行いながら踊る。</p>
5. 文化財伝承・ 活用の取組にお いて地域との連 携や工夫した点 等	<p>創始者の山田昌巖が本校校区の古里集落出身であることを由来とし、古里地区を中心に伝統継承している。本校では、平成9年6月16日から生徒による伝承活動に取り組み今年で21年目になる。1年生が毎年山田楽保存会（山田勝氏）から学び、体育大会で披露している。</p> <p>生徒が身に付ける「わらじ」については、保存会の指導のもと生徒が作成している。</p>
6. 取組の様子 （練習状況、発 表の場等）	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>練習の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>わらじ作り</p> </div> </div>
7. 感想・意見  (参加児童生 徒・保護者・ 保存会・教員 等)	<p>【職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山田楽保存会の御尽力により、地域に根付いた活動となっている。</li> </ul> <p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>動きが難しく覚えられるか不安であったが、練習を重ねるうちに少しずつできるようになってきた。体育大会で披露できるように頑張りたい。</li> <li>わらじつくりは難しかったが、なんとかできた。</li> </ul>